



海外赴任のマドロス

秒殺狸団





見れば見るほど
娘に似ている……。

「私の事はパパと呼びなさい」
片言の現地語で
そう伝えると、彼女は
「ばばだいすき」
と言いながら
可愛いお尻で誘惑してきた。



ああ娘とのキス……
夢にまで見たベロチュー
これが娘の味……

近づいて分かったが
彼女の匂いは
日本人のとは
だいぶん違った。

人種や食生活の
違いなんだろうか？
俺は子供の頃口にした
異国の甘い菓子を思い出した。
とにかく甘い。ただただ甘い。



甘いキスが終わると
リオは俺のペニスに
頬ずりし始めた。

無邪気に、あどけなく
でもぎこちなく。

俺の血液は一気に
一点に集中していった。



娘のフェラチオを
疑似体験して
俺のペニスは
人生で一番
と言って良いくらいに
膨張していた。

前に倒すのも
無理な程
ガチガチになったペニスを
少女が不器用に
奉仕している。

人生最大の背徳感に
射精欲は高まる。



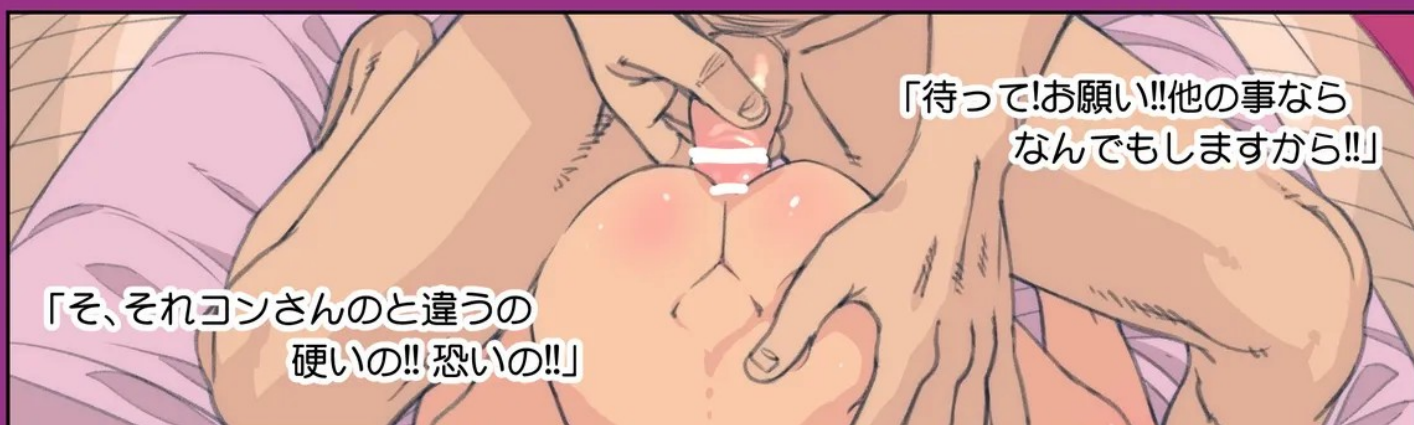
ありお!!
俺の天使!!

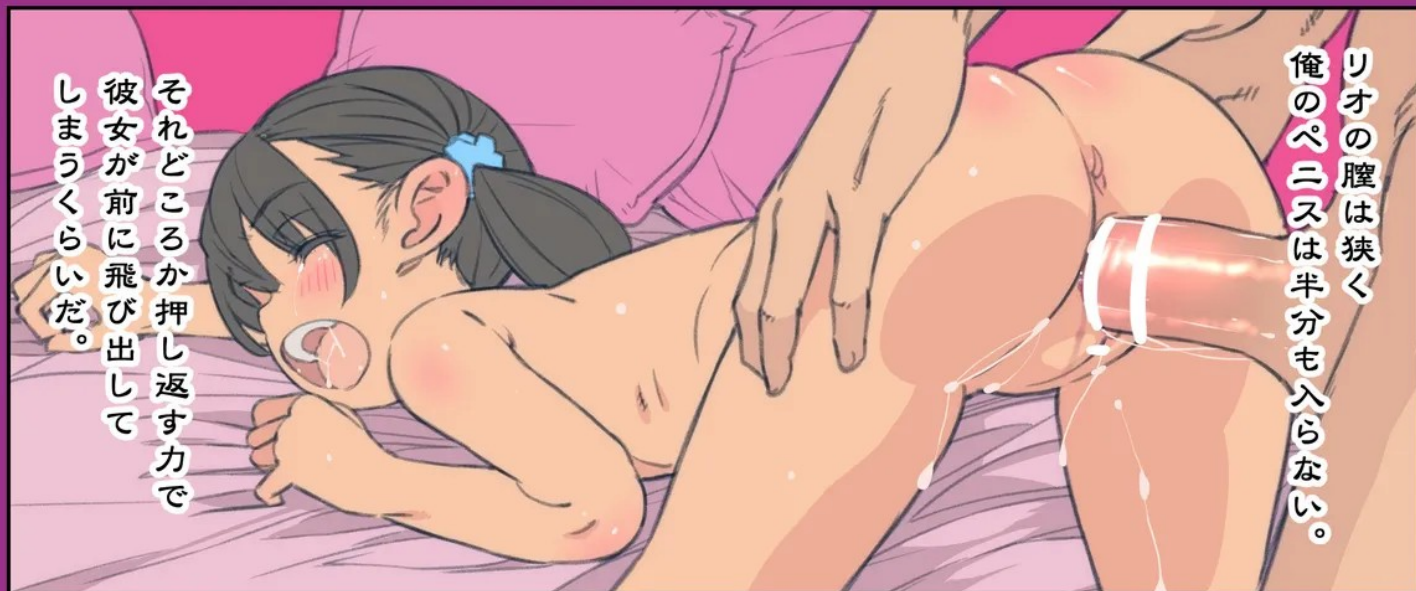
二度三度跳ね上がるペニス。

リオは
上手く受け止めきれずに
涙目でむせ始めた。

ダラダラと口から精子を垂らしながら
怒ってるような：何か言葉を発しているが
俺には理解出来ない。









抜かずに2発射精し
30分ピストン運動を続けると
つかえは取れ
動けるようになった。

どーだリオ

パパのチンポは!!

おまえの

イヤらしい縦スジマンコに

ズボズボ入ってる肉棒は!!



パパ大好き!!
パパ大好きって言え!

「パパ…
パパ…だいすき…」



よしご褒美だ

上の口と下の口
同時に体液を流し込んでやる。
喜んでいるのか、リオはフルフルと震え
少し失禁した。



日本との時差は小一時間
りおはそろそろお休みの時間かな。

もしもし？
りお？



「あ、パパ
うん今風呂
上がったところ」

「今？まだ裸だよ？
もーパパのエッチい」

「うん私も
え？はいはい」



「パパ愛してる♥」
チユッ

愛してる！
愛してるんだ
りおおお！！

数回目の射精にもかかわらず
今日一番の量が出た。

もう何時間繋がっているんだろう。

彼女の体はもうとっくに限界で
すり切れた小陰唇が
子供の唇くらい腫れ上がっていた。

それでも防衛本能からか
タプタプと愛液が溢れ俺のペニスを滑らせる。

ごめんね……。

もう終わらせるから……。

先ほど突き上げるのではなく
ユサユサとゆらしたとき
軽く絶頂していたのを
俺は見逃さなかった。

こうするといいんだろう？
これがいいんだろう？

ロングストロークではなく
振動するように刺激してやると
リオは切なそうな顔になった。

低い声で唸るリオ。

膣がバクバクと収縮し

あごをあげた瞬間

俺も絶頂した。

さすがに精子はほとんど出なかったが
この上ない快楽の波が押し寄せてきた。



店主が何度も日本人のペニスは何故そんなにコンパクトなのに使うときは硬いんだ？としつこく聞いてくるので「日本人は機能性重視なのさ」と伝えておいた。

最後にインスタントカメラで記念写真を撮ってくれた。

もっと払えば好きなタトゥーを彼女に彫れると言うが趣味じゃ無いので断った。



代わりに店主の生涯年収と日本車をプレゼントしたのは翌日の事だ。

HappyEND

